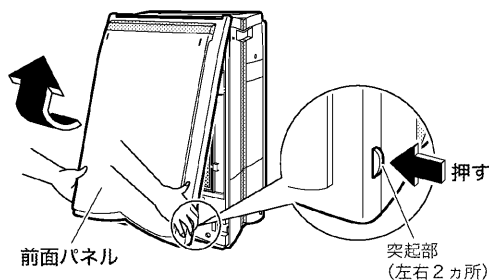
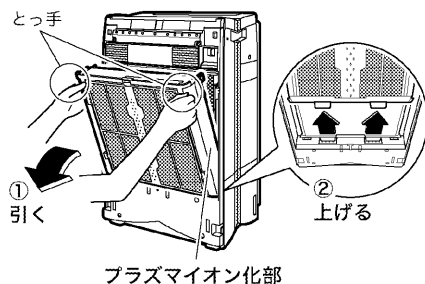
フィルターの取付け

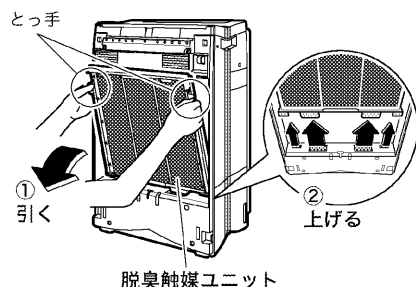
⚠ 注意
● 電源プラグを差し込む前に行ってください。

各フィルターの取付け前に

1 前面パネルを外す。

● 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げる。

2 プラズマイオン化部を外す。

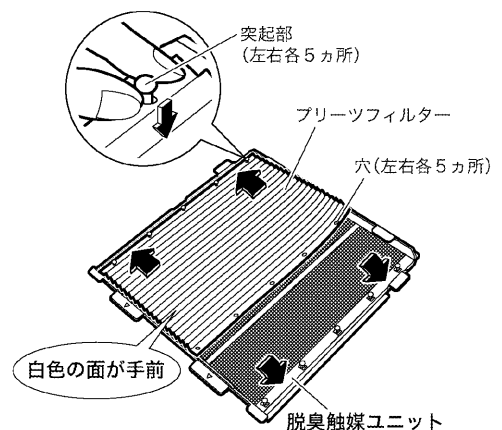
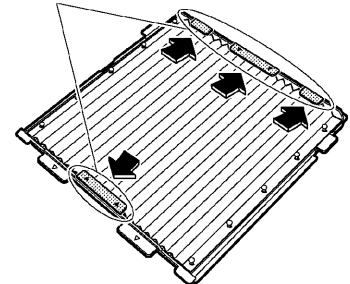
● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

3 脱臭触媒ユニットを外す。

● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

イラストはプリーツフィルターを取り付ける前の状態です。

プリーツフィルター（空清フィルター）の取付け

運転の前に必ずプリーツフィルターを取り付けてください。

1 プリーツフィルターを取り付ける。

● 脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各５ヵ所）にプリーツフィルターの左右の穴（各５ヵ所）を差し込む。

● プリーツフィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（４ヵ所）の下に差し込む。

プリーツフィルターは白色の面を手前にして取り付けてください。

プリーツフィルターは脱臭触媒ユニットを本体に付けたままでも取り付けることができます。

お願い

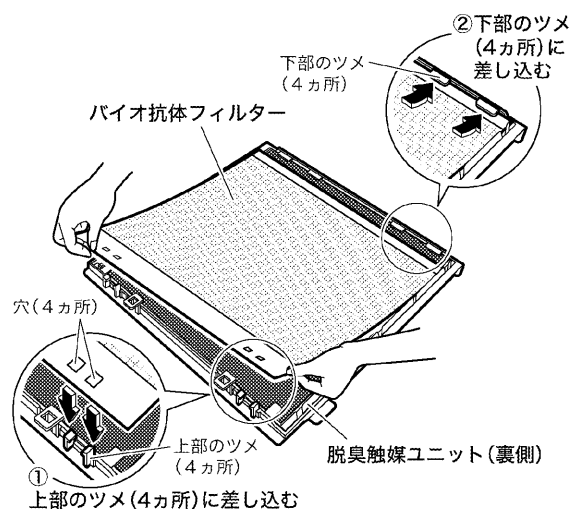
● 必ずプレフィルター（緑色）とプリーツフィルター（表：白色・裏：青色）をセットした状態で運転してください。
セットしないで運転すると故障の原因になります。

● プリーツフィルターの白色面、青色面をまちがえると性能が低下します。

フィルターの取付け

バイオ抗体フィルター(別売品)の取付け

バイオ抗体フィルターを取り付けなくても、
空気清浄機として使用できます。
空気清浄効果は損なわれません。

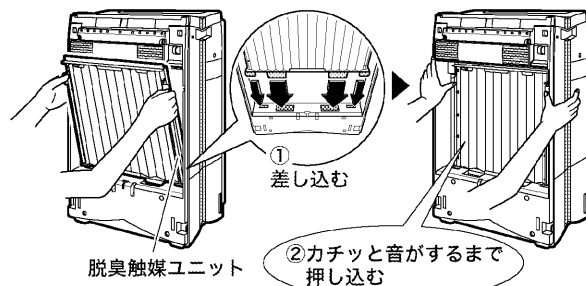
1 脱臭触媒ユニット(裏側)に バイオ抗体フィルターを取り付ける。

バイオ抗体フィルターには表裏の区別はありません。

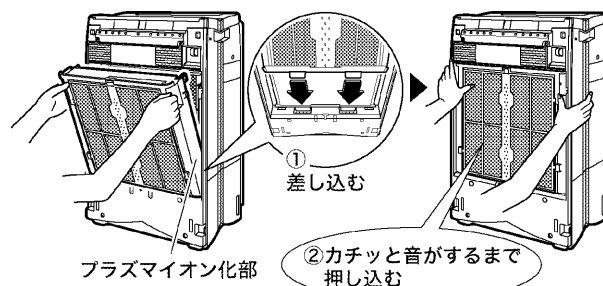
お知らせ

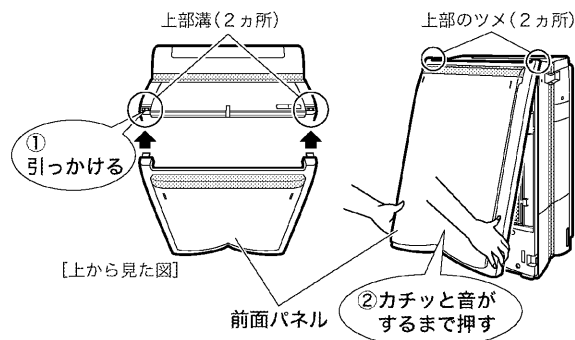
- バイオ抗体フィルターは別売品のため、付属されていません。
  ご入用の際は、別途お買い求めください。
  (46ページのお知らせを参照してください。)
- バイオ抗体フィルターはウイルスの除去スピードを速める専用フィルターです。
  空気が乾燥してウイルスが繁殖しやすい冬季などにお使いください。
- ご使用済みのバイオ抗体フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。(材質:ポリエステル/レーヨン系不織布)
  詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

各フィルターの取付け後に

1 脱臭触媒ユニットをもとどおり取り付ける。

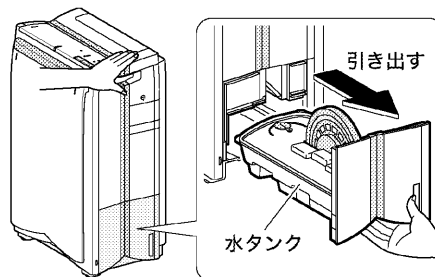
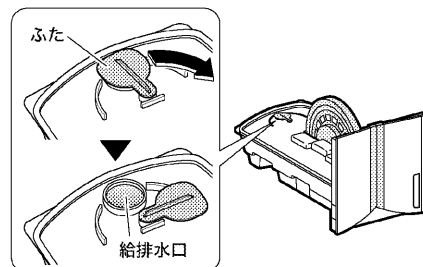
- とっ手を持ち、本体下部の溝(4ヵ所)に脱臭触媒ユニットの突起部を差し込んで、本体へ押し込む。
- 脱臭触媒ユニットは確実に押し込んでください。

2 プラズマイオン化部をもとどおり取り付ける。

- とっ手を持ち、本体下部の溝(2ヵ所)にプラズマイオン化部の突起部を差し込んで、本体へ押し込む。
- プラズマイオン化部は確実に押し込んでください。

3 前面パネルをもとどおり取り付ける。

- 上部のツメ(2ヵ所)を本体上面の溝に引っかけてパネルを閉じる。

前面パネル下部を左右ともカチッと音がするまで押し、確実に取り付けてください。
正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。

水タンクの準備（給水・排水のしかた）

1 水タンクを外す。

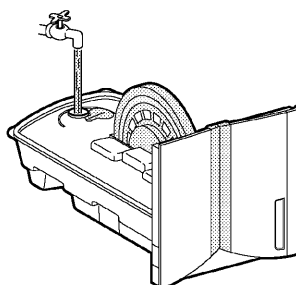
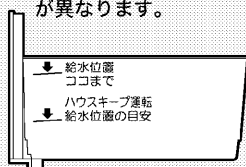
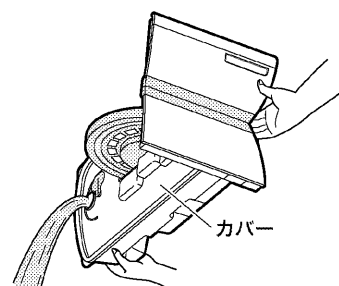
- 本体上部を押えながら水タンク下部のとっ手を持ち、ゆっくり引き出します。
  加湿・除湿運転後は、水タンクのカバーに水が残っている場合があります。
  勢いよく水タンクを引き出すと、水がこぼれる場合があるので注意してください。

2 水タンクの給排水口のふたをスライドして開ける。

給水したいとき

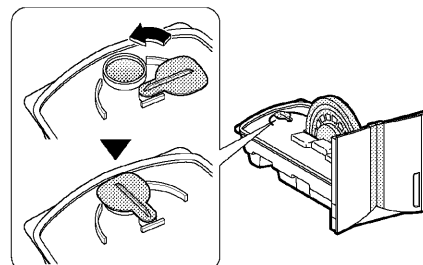
排水したいとき

水の入った水タンクを運ぶときは、水タンクの底を両手でしっかり持ってください。

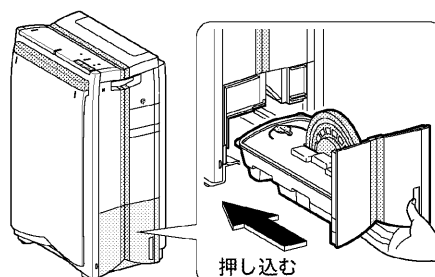
3 水タンクに水を入れる。（給水したいとき）

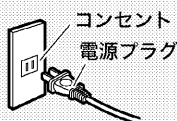
- まわりが水でぬれてもよい場所で作業してください。
- 水車、水タンクを掃除してから水を入れてください。 ▶39ページ

3 水タンクの水を捨てる。（排水したいとき）

- カバーは外さないでください。

4 給排水口のふたをもとどおり閉じる。

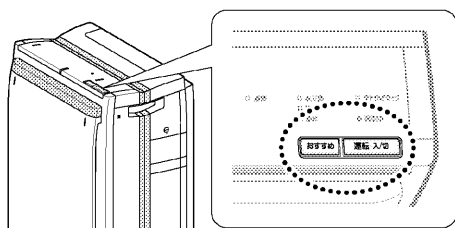
- カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

5 水タンクのまわりに付いた水気をふき取り、水タンクをもとどおり取り付ける。

- 本体の奥までゆっくり押し込む。

水タンクは奥まで確実に取り付けてください。
しっかり取り付けられていないと運転できません。

運転する（おすすめ・空気清浄運転）

■電源プラグをコンセントに差し込む

お願い
- 電源プラグの抜き差しで運転や停止をしないでください。発熱による火災や感電の原因になります。

自動で運転内容を選ぶ

運転中に［おすすめ］を押すと、
最適な運転内容に自動で切り換えます。

1 ［運転 入/切］ **を押す。**

2 ［おすすめ］ **を押す。**
- 約１分間お部屋の状態を確認し、最適な運転内容を自動で選びます。
  お部屋の状態を確認する間、センサーランプが順番に点滅していきます。
- 風量は自動になります。
- 操作パネルのふたを開けると決定した運転内容を確認できます。

■停止したいとき

［運転 入/切］ **をもう一度押す。**
- 運転を停止し、ランプが消灯します。

運転モード 空気清浄運転する

1 ［運転 入/切］ **を押す。**

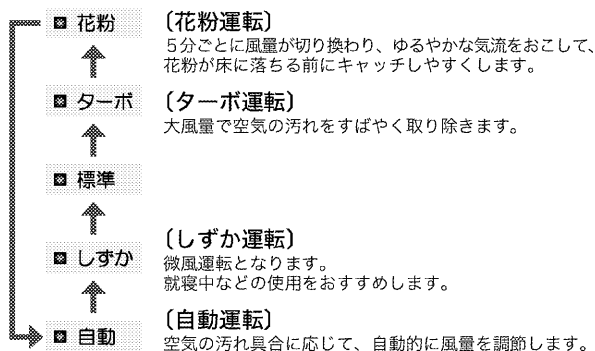
2 ［運転切換］ **を押して空気清浄を選ぶ。**
- 押すごとに運転モードが切り換わります。

3 ［風 量］ **を押して風量を切り換える。**
- 押すごとに風量が切り換わります。

お知らせ
- ［おすすめ］を押したときの空気の状態で運転内容を選びます。その後、室内の温度・しつどが変わっても運転内容は見直しません。運転内容を見直したい場合は、再度［おすすめ］を押してください。
- 除湿後に［おすすめ］を押して加湿になった場合、水交換ランプが点灯します。▶15ページ

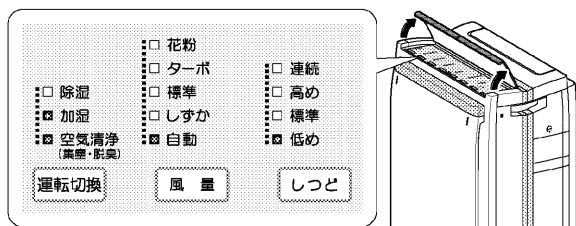
〔空気の状態と運転内容〕

〈例〉室内温度が18℃で、室内しつどが40%の場合

運転内容	運転モード	風 量	しつど
操作パネル表示	■ 加湿 ■ 空気清浄（集塵・脱臭）	■ 自動	■ 高め

運転する（加湿・除湿運転）

- 運転中に本体を動かさないでください。水もれ、故障や誤作動の原因になります。
- 運転停止後も内部の部品保護のため数分間ファンが回転します。停止するまで、電源プラグを抜いたり前面パネルを開けたりしないでください。故障の原因になります。

加湿・除湿運転時も、空気清浄運転を行います。（加湿・除湿の単独運転はできません。）

運転モード 加湿運転する

1 運転 入/切 **を押す。**

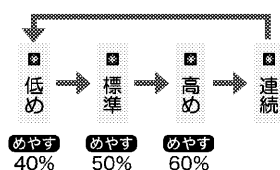
2 運転切換 **を押して加湿を選ぶ。**

- 押すごとに運転モードが切り換わります。

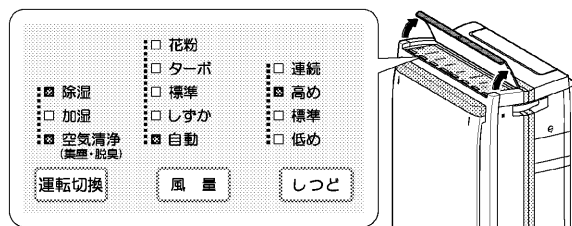
3 風 量 **を押して風量を切り換える。**

- 押すごとに風量が切り換わります。
- 風量「自動」の場合、空気の汚れ具合としつど状態に応じて、自動的に風量を調節します。

4 しつど **を押してしつどを切り換える。**

- 押すごとにしつどが切り換わります。

- 運転中は水車の回転によりポコポコ音などの音がする場合がありますが異常ではありません。
- 加湿フィルターを必ず取り付けて運転してください。

水タンクが空に近づくと給水ランプが点灯し、加湿運転を停止しますが、空気清浄運転は継続して行います。

運転モード 除湿運転する

1 運転 入/切 **を押す。**

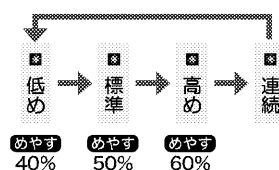
2 運転切換 **を押して除湿を選ぶ。**

- 押すごとに運転モードが切り換わります。

3 風 量 **を押して風量を切り換える。**

- 押すごとに風量が切り換わります。
- 風量「自動」の場合、空気の汚れ具合としつど状態に応じて、自動的に風量を調節します。

4 しつど **を押してしつどを切り換える。**

- 押すごとにしつどが切り換わります。

- 除湿運転は、空気清浄運転より運転音が大きくなります。
- 運転中はヒーターを使用するので、屋外温度やお部屋の広さによって、3～8℃室内温度が上昇することがあります。

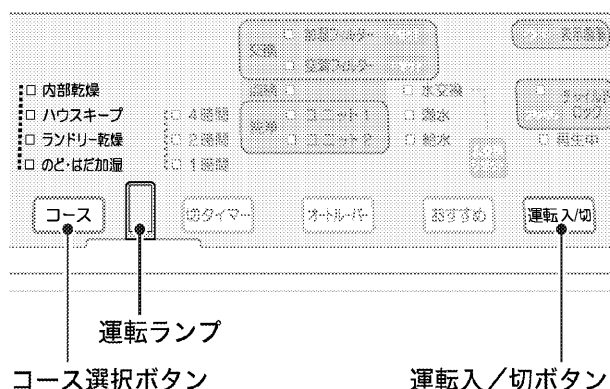
水タンクが満水になると満水ランプが点灯し、除湿運転を停止しますが、空気清浄運転は継続して行います。

お知らせ

- 初期設定は、空気清浄運転、風量「自動」になっています。
  電源プラグを抜いた場合や、前面パネルを外して再度運転した場合は、空気清浄運転、風量「自動」にもどります。
- 次回運転時は、前回の運転内容で運転を行います。
- 加湿・除湿運転中に設定しつどに到達したり、満水・給水ランプが点灯すると、加湿・除湿運転は停止しますが、空気清浄運転はそのまま行います。
- 風量設定により加湿量、除湿量は異なります。

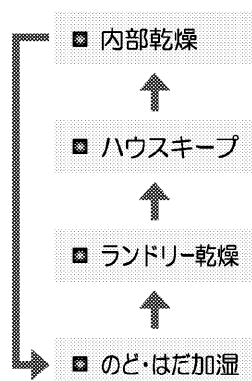
コース選択する

コースに合わせて自動で運転します。
運転切換とは異なる運転が選べます。

操作パネル

コース選択ボタン

1 運転入/切 **を押す。**

2 コース **を押す。**

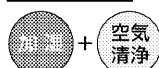
- 押すごとにコースが切り換わります。

- コース選択中は、風量設定やしつど設定はできません。
- 切タイマー設定時は、内部乾燥は選択できません。

コース選択中に 運転切換 を押すとコース選択が解除されます。

運転の内容

のど・はだ加湿運転

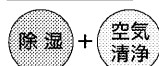
室温に合わせて、のどや肌にやさしい高めのしつどに加湿します。

内部乾燥 / ハウスキープ / ランドリー乾燥 / ■ のど･はだ加湿

運転ランプ 橙

運転モード

ランドリー乾燥運転

大風量＋除湿＋オートルーバーで、洗濯物を乾かしながらお部屋の空気をキレイにします。

内部乾燥 / ハウスキープ / ■ ランドリー乾燥 / のど･はだ加湿

運転ランプ 黄

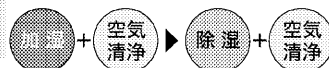
運転モード

ハウスキープ運転

加湿運転後、不要になった湿気を取り除くために除湿運転を行います。

内部乾燥 / ■ ハウスキープ / ランドリー乾燥 / のど･はだ加湿

運転ランプ 橙→黄

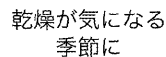
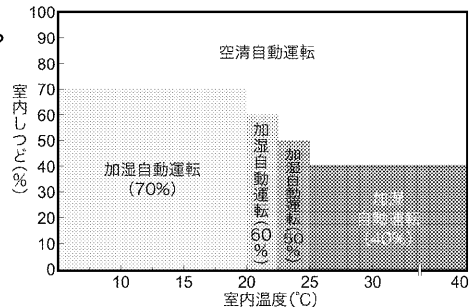
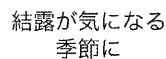
運転モード 加湿＋空気清浄 ▶

水タンクに入れる水の量は、水タンクの表示にしたがってください。▶19ページ

内部乾燥運転

約3時間の送風運転で本体内部を乾燥させ、カビの発生を抑えます。

■ 内部乾燥 / ハウスキープ / ランドリー乾燥 / のど･はだ加湿

運転ランプ 緑

運転モード

おすすめ時期	もっと詳しく
冬 乾燥が気になる季節に	**室内の温度・しつどにより、設定しつどを自動で選択します。** ● しつどが高い場合は、空気清浄運転、風量「自動」に切り換えます。 ● しつどを少し高めに設定しているため、外気温と室温の差が大きいと結露しやすくなります。 ■室内の状態と運転内容 空清自動運転／加湿自動運転（70%）／加湿自動運転（60%）／加湿自動運転（50%）／加湿自動運転（40%） 室内しつど（%）：0〜100　室内温度（℃）：10, 15, 20, 25, 30, 40
オールシーズン	● 最大約12時間運転します。お好みに合わせて、切タイマーと併用して使用してください。 ● ランドリー運転終了後は、空気清浄運転、風量「自動」になります。 ● 水タンクが満水になると空気清浄運転に切り換わります。 ● 洗濯物へ全体的に風をあてると効果的です。 干すときのポイント 吹出口 吹出口と衣類の間は40㎝以上離してください。 ■ランドリー運転の動きについて タイマーなし：ランドリー運転（除湿＋空気清浄）→ランドリー運転終了→空清運転（空気清浄） タイマーなし 途中水タンク満水：ランドリー運転→タンク満水→空清運転（12時間） タイマー4時間：ランドリー運転→運転終了→停止 タイマー4時間 途中水タンク満水：ランドリー運転→タンク満水→空清運転→運転終了→停止（4時間） 運転開始
冬 結露が気になる季節に	**しつどを見張って湿気回収** ● 就寝後、室温が下がって相対しつどが上昇し、結露が発生しやすい状況になると、自動的に除湿運転を開始します。 ● 相対しつどが上昇しない場合は、除湿運転に入りません。 ● **除湿運転後は加湿運転を行いません。加湿運転を行う場合は、水タンクの水を交換してから、水交換リセットボタンを押して運転してください。** ● 除湿運転していても外気に面した窓ガラスや通しの悪い場所（家具の裏側など）は結露したりカビが発生することがあります。 ■ハウスキープの運転イメージ 在室中（暖房）／就寝後（暖房OFF） 温度 ↑高い　時間→ 加湿 → 見張り → 除湿 しつど ↑高い　結露しやすい領域／快適しつど領域　湿気回収なし ⇒結露発生／湿気回収あり ⇒結露抑制　時間→
春・秋 シーズンオフのお手入れに	● 切タイマーは設定できません。 ● 加湿運転後や除湿運転後に使用するとカビの発生を抑えます。

脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』の使いかた

■空気清浄機本体から取り出して、離れた場所を脱臭できる脱臭カートリッジです。
ストリーマポケットで再生運転を行うことで脱臭力が再生し、くり返し使用できます。

用途

こんな場所に使用できます。

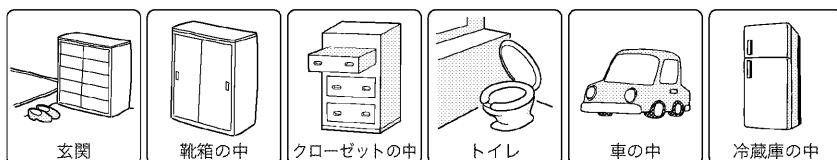
玄関

靴箱の中

クローゼットの中

トイレ

車の中

冷蔵庫の中

冷蔵室用
（冷凍室には使用できません）

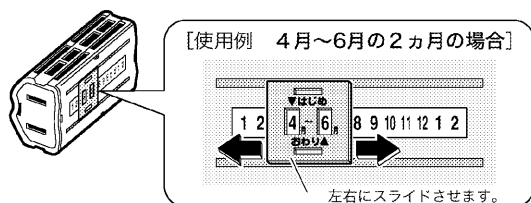
お願い

- 使用する場所はお好みでお選びいただけますが、くり返し使用するときは同じ場所でお使いください。
- 脱臭カートリッジは空気清浄機本体の補助機能ですので、通常の室内やニオイの強い場所では空気清浄機本体をお使いください。

設置について

①袋から脱臭カートリッジを取り出す。

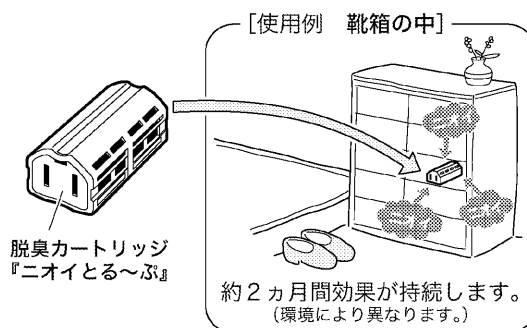
- そのままでもお使いいただけますが、再生運転してから設置するとより効果があります。

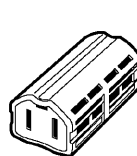
②脱臭カートリッジの裏面に使用開始月を設定する。

（左側の穴を使用開始月になるように合わせると右側の穴に次回の再生めやす時期が表示されます。）

③ニオイの気になる場所へ設置する。

[使用例　**靴箱の中**]

脱臭カートリッジ
『ニオイとる～ぷ』

約２ヵ月間効果が持続します。
（環境により異なります。）

使用期間のめやす	約２ヵ月
推奨広さ	１畳程度の空間

周囲のニオイを吸着して取り除く方式のため、広い場所で使用すると、十分な効果が得られない場合があります。

使用場所にあわせて縦・横方向に置くことができます。

【冷蔵庫用としてお使いの場合】

- 冷蔵室（450Lまで）で、お使いください。
- 衛生上、冷蔵庫専用としてお使いください。
- 食品に直接触れないように設置してください。
- 冷凍室ではお使いいただけません。
- 冷たい場所から暖かい場所に移動すると、ケースが結露することがあります。
- 結露して水滴が付いた場合は、やわらかい布で水分をふき取り、自然乾燥してからご使用ください。

【自動車用としてお使いの場合】

- 運転時の視界を妨げる場所には置かないでください。
- ペダル操作の妨げになるおそれがあるので、運転席のシート下には置かないでください。
- 変形のおそれがあるので、ダッシュボードなど高温になる場所には置かないでください。

お願い

- 脱臭カートリッジは食べられません。万一、間違って食べた場合は医師にご相談ください。
- お子様の手の届かないところに置いてください。
- ペットのいたずらにご注意ください。
- 衣類などが本体に触れると色移りする可能性がありますのでご注意ください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 分解しないでください。

お知らせ

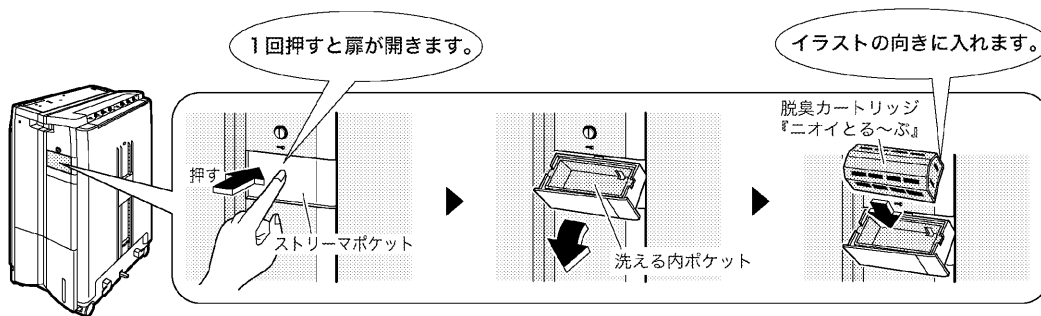
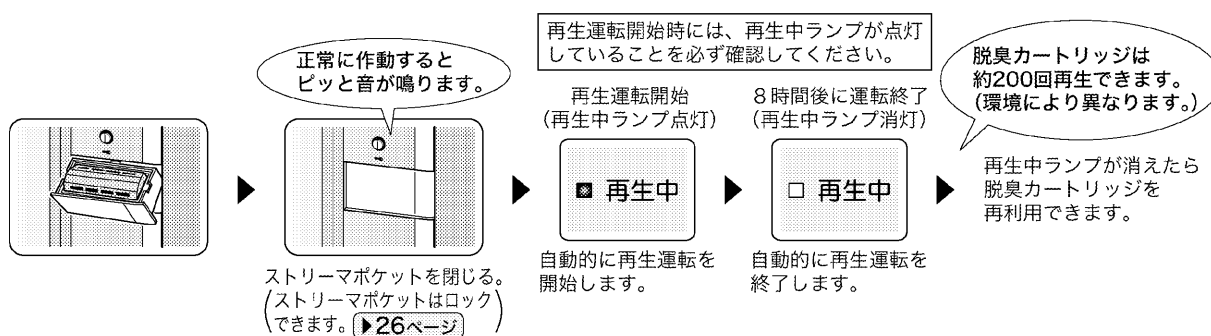
◎内容量：脱臭触媒フィルター１個
◎成　分：光触媒（チタンアパタイト）、活性炭

再生のしかた

約２ヵ月（めやす）たったら空気清浄機本体のストリーマポケットで再生運転を行ってください。
再生運転を定期的に行わない場合は、十分な効果が得られないことがあります。
脱臭カートリッジ『ニオイとる〜ぷ』の再生は、ストリーマポケットの開閉によって操作します。

①ストリーマポケットを開けて、脱臭カートリッジを入れる。

- 再生するときは、必ず内ポケットを使用してください。
- 脱臭カートリッジは必ずイラストの向きに入れてください。

②ストリーマポケットをもとどおり閉じる。

ストリーマポケットを閉じる。
（ストリーマポケットはロックできます。▶26ページ）

主な運転条件

	空気清浄運転中	空気清浄停止中	チャイルドロック中	コンセントを抜いているとき 前面パネルが開いているとき
脱臭カートリッジをストリーマポケットに入れて閉じたとき	再生運転開始	再生運転開始 （送風ファンが動き出します）	再生運転開始	（再通電後も自動的には再生運転は開始しません）
再生中にストリーマポケットを開けたとき	安全のため再生運転を停止します （再生運転の時間はリセットされます）			—

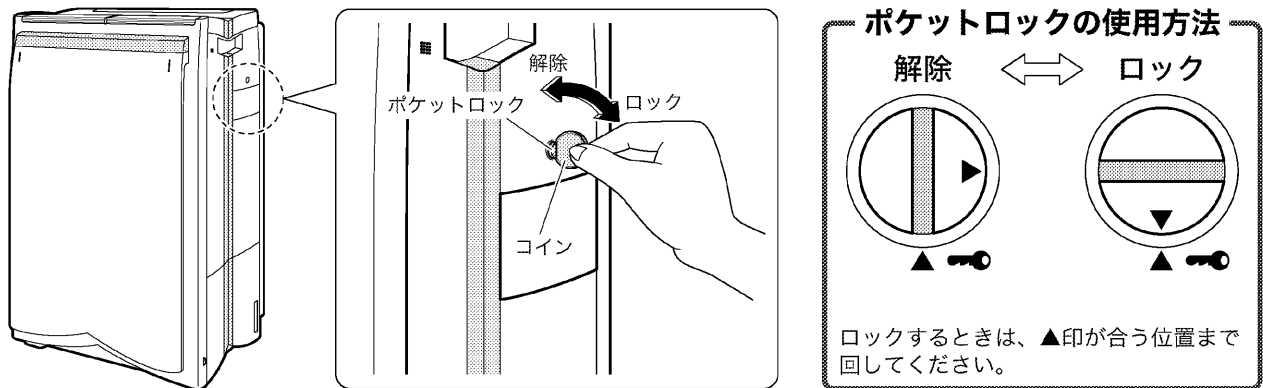
③脱臭カートリッジを取り出し、もとの場所に置く。

お知らせ

- 再生運転は、電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、空気清浄運転を行っていないときでも使用できます。
- 再生運転中に前面パネルを開けたり電源プラグをコンセントから抜いたりした場合、安全のため再生運転は停止します。そのとき、再生運転の時間はリセットされます。もう一度再生運転を行いたいときは、ストリーマポケットをいったん開けてから、再び閉じてください。
- 脱臭カートリッジをストリーマポケットに入れたまま空気清浄機を使用しても問題ありません。
- 再生運転をしても、使用環境や経年変化により脱臭効果は100%もどらない場合があります。
- 脱臭カートリッジは、追加でお求めいただけます。詳しくは裏表紙をご覧ください。

脱臭カートリッジ『ニオイとる〜ぷ』の使いかた

ポケットロック

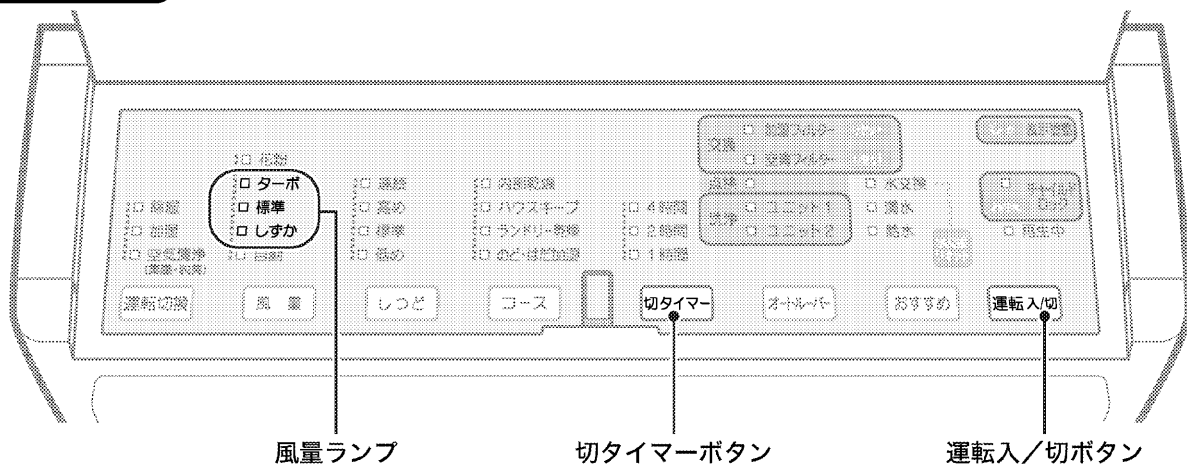
誤ってストリーマポケットが開くのを防ぎます。
操作するときはコインを使うと便利です。

お願い

- ストリーマポケットには脱臭カートリッジ以外のものは入れないでください。
- ストリーマポケットは開けたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- 脱臭カートリッジは再生後も、最初にお使いいただいた場所でお使いください。
- 他の芳香剤、消臭剤、防虫剤などと併用しないでください。
- 火気の近くや直射日光、高温多湿の場所でのご使用、保管は避けてください。
- 結露などで水分を含んだ状態では再生運転しないでください。ぬれたまま再生すると故障の原因になります。

ホコリセンサーの感度調節について

ホコリセンサーの感度を設定したいとき

ホコリセンサーの感度がお好みに合わないときは、設定を変更してください。

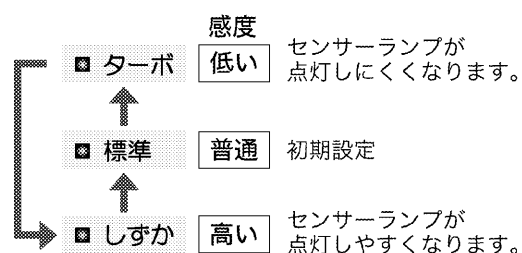
操作パネル

1 **運転入/切 を 10 秒以上押したまま、切タイマー を押す。**

- 受信音がし、風量ランプ（しずか・標準・ターボ）のいずれかが約 5 秒間点滅後、現在設定されている感度に対応するランプが点灯します。

2 **運転入/切 で感度設定を変更する。**

- 押すごとに風量ランプが切り換わり、感度が変更できます。
- 感度設定は風量ランプで表します。風量ランプが切り換わらない場合は、電源プラグを抜き、3 秒以上待ってから電源プラグを差し込んでもう一度最初から操作してください。

感度を**高**くしたいとき──► 風量ランプを「**しずか**」にする。

感度を**低**くしたいとき──► 風量ランプを「**ターボ**」にする。

3 **設定変更後、切タイマー を押す。**

- 受信音がし、設定されたランプが点滅します。

4 **一度電源プラグを抜き、3 秒以上待ってからもう一度電源プラグを差し込む。**

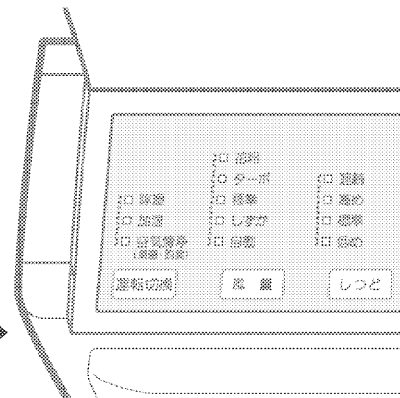
これで設定完了です。

お知らせ

- *4* の操作を行わないと通常運転モードにはもどりません。
- 感度を高く設定した場合、センサーのランプが消えにくくなります。

お手入れ早見表

⚠ 警告
● お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

点検ランプが点灯したら、ふたを開けてお手入れ箇所を確認してください。
● 加湿フィルターランプ、空清フィルターランプ、ユニット1、2ランプのいずれかが点灯・点滅しています。

ホコリ・ニオイセンサー温度・しつどセンサー用空気取入れ口 ▶30ページ
目づまりしたら ▶ **そうじき**

① 前面パネル ▶30ページ
汚れたら ▶ **ふき取り**

② プレフィルター ▶34ページ
2週間に一度 ▶ **そうじき** **水洗い**

⑥ 脱臭触媒ユニット ▶31ページ
汚れたら ▶ **そうじき**
水洗い不可 交換不要

⑦ バイオ抗体フィルター（別売品） ▶18ページ
開封後約１年で ▶ **交換**
交換方法は、バイオ抗体フィルターの取付けを参照してください。
水洗い不可

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。
もとにもどすときは、取外しと逆の手順でもどしてください。

3 加湿フィルター ▶38, 39ページ

２週間に一度 ▶ つけおき

交換 ■ 加湿フィルター □ 空清フィルター

加湿フィルターランプが点灯または点滅したら ▶ 交換

④ストリーマユニット

【ユニット2】 ▶36, 37ページ

洗浄 □ ユニット1 ■ ユニット2

「ユニット2」ランプが点灯したら ▶ つけおき

⑤プリーツフィルター

(空清フィルター) ▶32, 33ページ

交換 □ 加湿フィルター ■ 空清フィルター

空清フィルターランプが点灯または点滅したら ▶ 交換

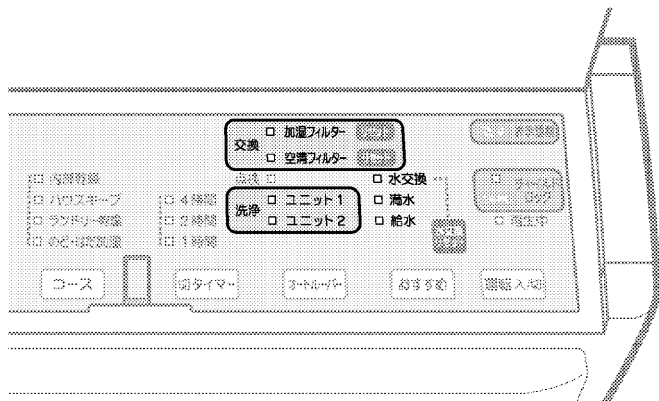
水洗い不可

③プラズマイオン化部

【ユニット1】 ▶36, 37ページ

洗浄 ■ ユニット1 □ ユニット2

「ユニット1」ランプが点灯したら

- 対向極板 つけおき
- イオン化枠(イオン化線) つけおき

脱臭カートリッジ『ニオイとる〜ぷ』 ▶31ページ

ホコリがたまったら ▶ そうじき つけおき

洗剤不可

洗える内ポケット ▶31ページ

汚れが気になるとき ▶ 水洗い

2 加湿フィルターパネル

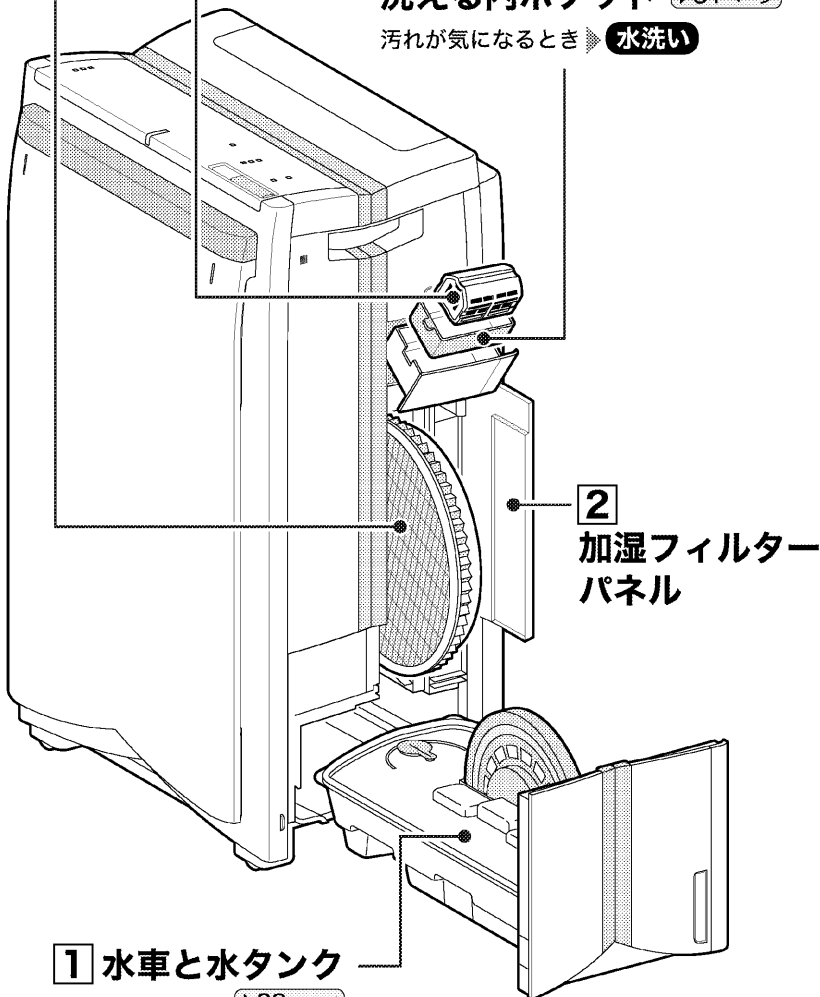
1 水車と水タンク

▶39ページ

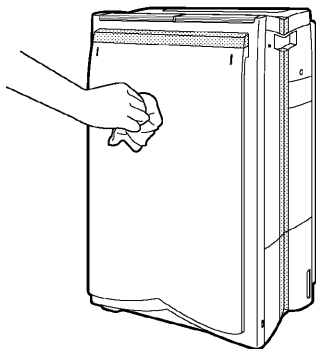
給水時 ▶ 水洗い

満水ランプが点灯したら ▶ 水を捨てる ▶19ページ

給水ランプが点灯したら ▶ 水を入れる ▶19ページ

水交換ランプが点灯したら ▶ 水を交換し、水交換リセットボタンを押す ▶15ページ

各部のお手入れ

前面パネルの掃除 ふき取り

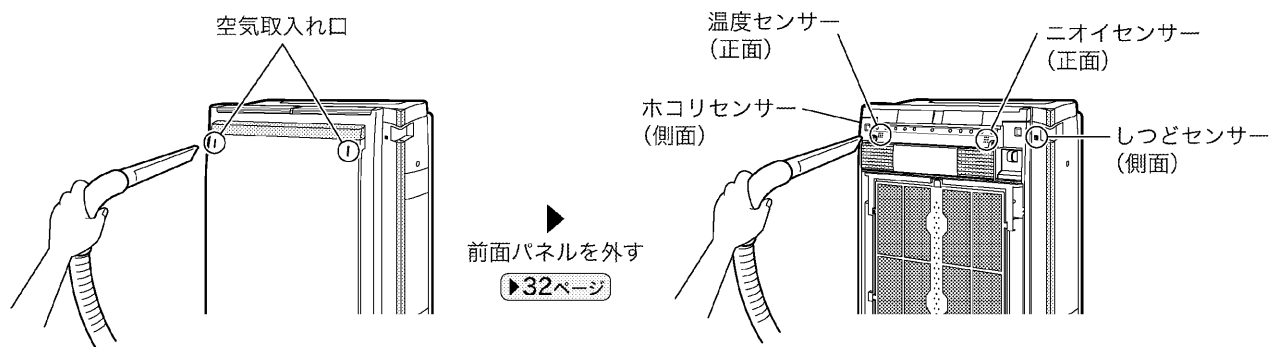
- 水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。

⚠ 注意

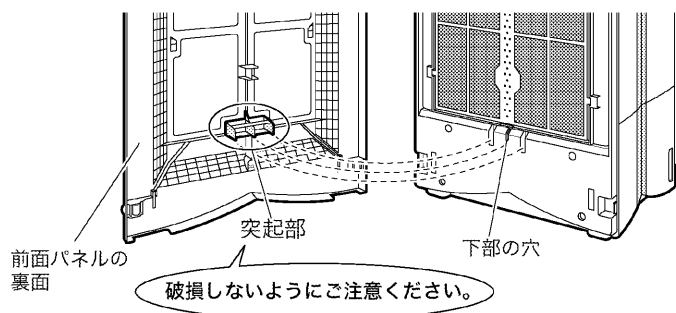
- 硬いタワシなどを使用しないでください。
  キズの原因になることがあります。

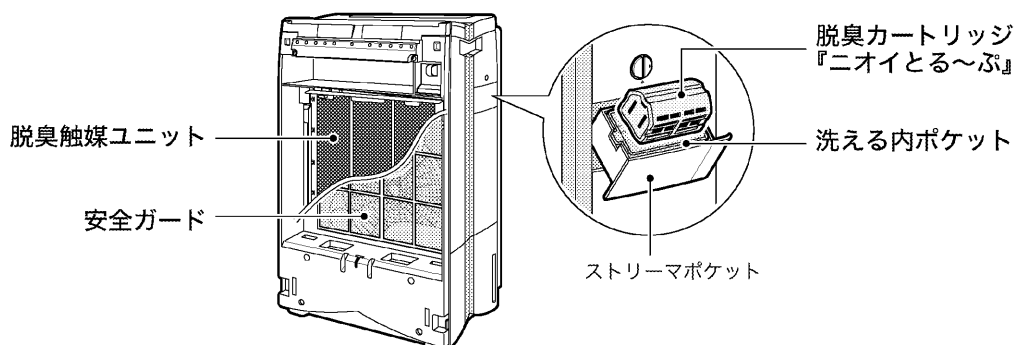
⚠ 警告

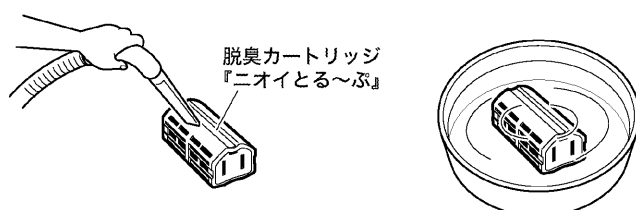
- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しないでください。
  ひび割れ・感電・引火の原因になります。
- 本体を水洗いしないでください。
  感電や火災・故障の原因になります。

センサー用空気取入れ口の掃除（ホコリ・ニオイ・温度・しつどセンサー） そうじき

- 掃除機のすきま用ノズルなどを使用して、空気取入れ口と各センサーの穴に付着したホコリを吸い取ってください。

お願い

- 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が損傷しないように注意してください。
  裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。
  損傷しますと、運転ができなくなりますのでご注意ください。

⚠ 警告

- 本体下部の穴の奥には安全スイッチがありますので触れないでください。
  感電のおそれがあります。
- 誤って損傷し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。 ▶47ページ

脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』の掃除 そうじき つけおき 洗剤不可

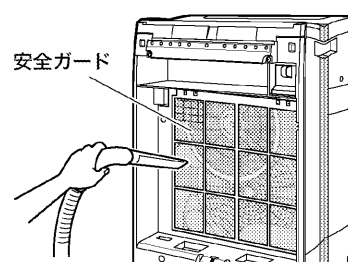
- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取る。
- 脱臭カートリッジの汚れが気になる場合は、ぬるま湯または水につけおきし(約10分)、水気を切り、風通しのよい日陰で乾燥する(約1日)。

⚠ 注意

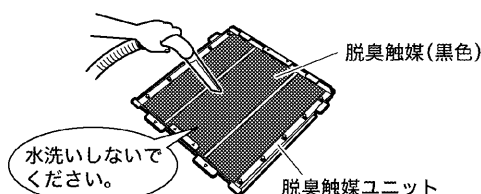
- 脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』は分解しないでください。
- 洗剤、薬品などは使用しないでください。脱臭能力が低下します。

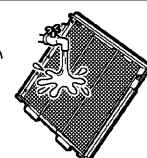
洗える内ポケットの掃除 水洗い

- 内ポケットは取り外して洗うことができます。
- 汚れが気になるときや、設置場所の異なる脱臭カートリッジを再生するときは水洗いしてください。
- 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、風通しのよい日陰でよく乾かしてください。

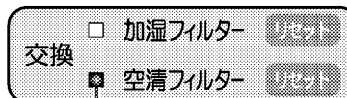
安全ガードの掃除 そうじき

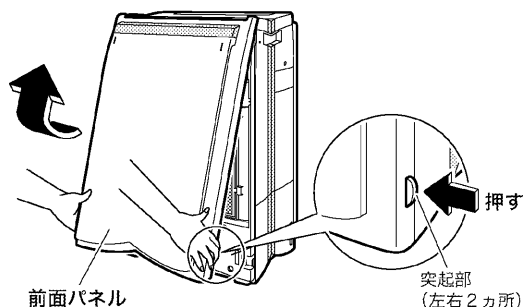
- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取る。

脱臭触媒ユニットの掃除 そうじき 水洗い不可 交換不要

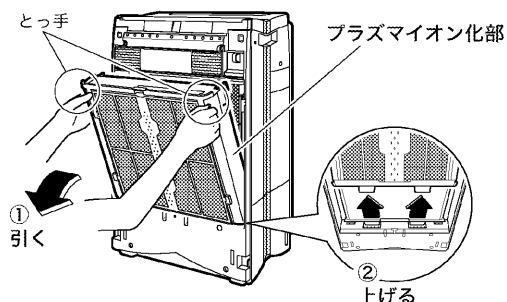
- 脱臭触媒ユニットを外して掃除機でホコリを吸い取る。
- 脱臭触媒ユニットの取外し・取付けかたは、プリーツフィルターの交換を参照してください。▶32, 33ページ

⚠ 注意

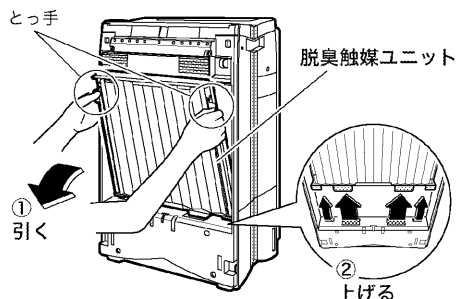
- 脱臭触媒ユニットは水洗いしないでください。
水洗いすると使用できなくなります。

各部のお手入れ

プリーツフィルター（空清フィルター）の交換 水洗い不可

プリーツフィルターは、空清フィルターランプが点灯・点滅するまで交換は不要です。

1 前面パネルを外す。

● 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げる。

2 プラズマイオン化部を外す。

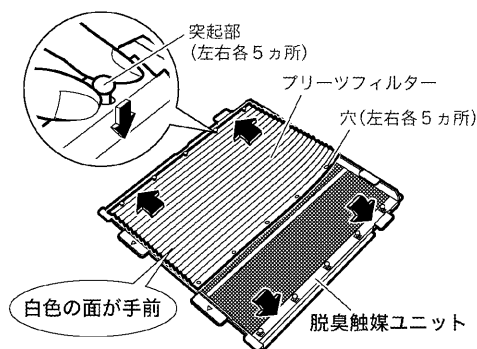
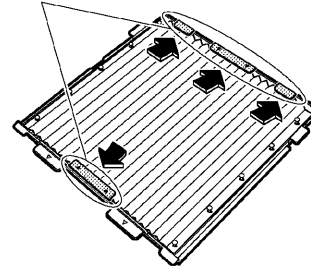
● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

3 脱臭触媒ユニットを外す。

● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

4 プリーツフィルターを新しいものと取り替える。

①使用済みのプリーツフィルターを外す。

● 脱臭触媒ユニット（表側）の左右にある突起部（各５ヵ所）からプリーツフィルターを外す。

②新しいプリーツフィルター（１回分）を袋から取り出し、脱臭触媒ユニットに取り付ける。

● 脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各５ヵ所）にプリーツフィルターの左右の穴（各５ヵ所）を差し込む。

● プリーツフィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（４ヵ所）の下に差し込む。

プリーツフィルターは白色の面を手前にして取り付けてください。

プリーツフィルターは脱臭触媒ユニットを本体に付けたままでも交換することができます。

お知らせ

● 脱臭触媒ユニットの枠の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取ってください。汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。（水洗いはしないでください。）